

教育長就任あいさつ



このたび、教育長に就任いたしました鈴木英之です。

私は、令和元年10月から3年間教育長として、令和5年4月から1年間教育委員会参与として職務を果たしてまいりました。教育長在任中は、令和元年東日本台風による被害からの学校施設、スポーツ広場の復旧や新型コロナウイルス感染症による学校の一斉休校を始め、図書館、博物館、公民館の休館や開館時間の短縮への対応など責任の重さを実感しました。

また、GIGAスクール構想による1人1台のタブレットPCの配備や神奈川県との連携による中学校夜間学級の開設は、大きなやりがいを感じましたが、同時に、教職員を始め多くの職員が力を合わせる必要も感じました。

社会の急激な変化に対応していくためには、教育に求められるものも変化します。今の小中学生が社会で活躍する10年後がどのような社会になっているか、今後の社会を予測することが難しくなっていますが、どのような状況でも、自らたくましく自分らしく生きていくためには、様々な教育活動を通して生きる力を身に付けることが大切であり、教育の充実が必要です。

児童生徒を教え育む教師については、全国的に不足が言われていますが、教師の志望者に対し、学校と連携して本市教育の魅力をアピールするなど教育を支える人材の確保と研修の充実を図るとともに、児童生徒一人ひとりに向き合うことの意味を考え、教育に専念できる働き方や体制を検討する必要があります。

そして、家庭環境の違いによる教育格差を生まないための取組や不登校への対応のほか児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した支援教育をさらに推し進め、学校が安全安心な居場所となるよう人権教育や防災教育にも力を入れるとともに、空調の整備や中学校給食全員喫食の実現に向け、これまでさがみはら教育が積み重ねてきた成果をしっかりと引き継ぎながら、これからの時代に対応した教育を一層推進していきたいと考えております。

また、高齢化が進む中、ともに支え合う地域づくりに向けた地域コミュニティの維持のためにも、本市の特徴である公民館を中心に、人づくり、つながりづくりを進める必要があります。引き続き、市民のニーズに応えられるよう生涯学習、社会教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

近年、教職員による不祥事が度々発生しており、一つの不祥事が本市の教育に対する信頼を損ねてしまうことは残念でなりません。教育行政は、市民や保護者の信頼なくしては成り立ちません。教育長在任中も、児童生徒を含め、嫌なこと、困っていること、助けてほしいことが言える職場や学校であってほしいと呼び掛けてまいりましたが、教職員一人ひとりが仕事を進める中で、気軽に相談ができ、適切な助言や支援が得られるような風通しの良い職場づくりを進めていきたいと考えております。

今後も、学校や社会教育の現場へ足を運び、様々な声を聴かせていただく中で、状況を把握し、市長を始め市長部局の職員と実態や課題、情報の共有を図り、さがみはら教育の充実に向け誠心誠意取り組んでまいります。

皆様の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

教育長 鈴木 英之